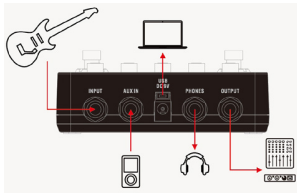


接続



ミキサーやオーディオインターフェースに接続する際は、出力ボリュームの操作に気をつけてください。出力レベルを操作して、ミキサーやオーディオインターフェースの入力段が歪まないようにしてください。

ディスプレイ

電源を接続するとディスプレイに下のような表示が現れます。



- 1 - 現 bank/patch ナンバー
- 2 - 現パッチで使用しているキャビネットのモデルが表示されます。

Patch/Bank の選択

▽ / △ フットスイッチを操作するとパッチが変更できます。△ フットスイッチを押し続けると、パッチは 00, 01, 02, ..., 99, → 00 と順に変わります。▽ フットスイッチではその逆に順次変わっていきます。



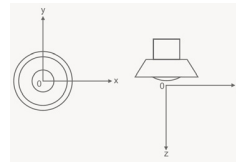
エディット

1. パラメーターの変更

本体の各コントロールノブでパラメーターが変更できます。ディスプレイに設定値が表示されます。



- 1 - 現設定値 (表示は vol/ ボリューム)
- 2 - 保存されている設定値 (PREV. = Previous value/ 前設定値)



マイクポジションの X/Y コントロールは、水平 (X 軸) / 垂直 (Y 軸) の位置を決めます。X=Y=0 の設定はオンキス (傾き 0°)、Z がスピーカーからの距離です。マイクタイプは好みのモデルを選択できます。ミニマム設定はマイクのシミュレーションがオフになります。

2. キャビネットシミュレーションを選択する。

+/- ボタンを使用して他のキャビを選びます。



ディスプレイ表示は図のように反転し、現パッチがエディット状態であることを示します。

3. パワーアンプとルームのセッティング

GLOBAL ボタンを押してパワーアンプをエディットします。GLOBAL ボタンを繰り返しパワーアンプのタイプ、プレゼンス、ルームをエディットします。



+/- ボタンでパワーアンプのタイプ (オフ設定も可能) / パワーアンププレゼンス / ルーム (オフ設定も可能) を設定します。SAVE/EXIT ボタンを押し (又は、3 秒以上操作しない)、セッティングを確認し完了します。注意: 変更したセッティングを保存する前にパッチを変更すると、『変更』は保存されません。

保存

SAVE ボタンを押すと、以下のスクリーンが表示されます。



+/- ボタンで保存先を選択します。SAVE ボタンを押し保存を確認します。いずれかのフットスイッチを押すと、保存がキャンセルされてエディット状態へ戻ります。

バイパス / ミュート

両 ▽ / △ フットスイッチを同時に押します。

バイパス：フットスイッチを2秒以内に離します。

BYPASS

ミュート：フットスイッチを2秒以上ホールドし、MUTEが表示されたらスイッチを離します。

MUTE

両 ▽ / △ フットスイッチを同時に押すと、ノーマルに戻ります。バイパス / ミュート時はコントロールノブのLEDが消えます。

Note: ミュート時でも Aux in の信号はミュートされません。

スペシフィケーション

エフェクト数：キャビ100種類、パワーアンプ8種類、マイク10種類
パッチ数：100
AD/DA：24-bit A/D/A
IR ファイルフォーマット：24-bit 48kHz
最大トラクションタイム：20ms
周波数特性：20 Hz-20 kHz
S/N：Up to 110 dB
入力インピーダンス：1M Ω
出力インピーダンス：100 Ω
電源：DC 9V センターマイナス
消費電流：200 mA 以上
サイズ：121mm(D)x72mm(W)x47mm(H)
重量：340g

安全のために

ご使用になる前に、本機の性能をトラブルなく十分に発揮するため、以下の説明を必ずお読み下さい。

警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- ・湿度の非常に高い場所
- ・砂やほこりが多い場所
- ・台所、バスルーム、湿気が多い地下室など、水の掛かり易い場所
- ・空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

【電源について】

本機は、DC9V アダプターをご利用下さい。

- ※ 9V 以上の電源は絶対に接続しないで下さい。
- ※ センターマイナス以外の極性の電源アダプターや、AC 電源を接続しないで下さい。

Binary Editor



ソフトウェアのダウンロード：

<http://allaccess.co.jp/hotone/binarycab/>

USBケーブルを使用してコンピューターと接続し、プリセット管理やパラメーター設定がPC (or Mac)上で行えます。PC上で操作したプリセットはコンピューターに保存できます。それらのプリセットを本体へインポート/エクスポートも可能です。さらに、プリセットのエフェクト(モデル)の説明も表示されますので、エミュレーションのベースになった機種名、各コントロールの詳細が確認できます。また、マイクのXYZも、ビジュアルで操作できますので、より直感的な設定が可能となります。

主な仕様

- ◎ XTOMP のテクノロジーを採用したファミリーモデル
- ◎ コンパクトな 2 スイッチング機能付きアンプシミュレーターペダル
- ◎ HOTONE 独自の CDCM モデリングによるリアルなプレイングエクスペリエンスを約束するエミュレーション
- ◎ デュアル DSP プラットフォームが導く高いサウンドクオリティ
- ◎ 110dB S/N 比を実現した 24-bit A/D/A 変換
- ◎ 100 種類の IR キャビネットシミュレーション
- ◎ 10 種の CDCM ベースのマイクシミュレーション
- ◎ 3D(X,Y,Z) のマイクポジショニング設定&ルームシミュレーション
- ◎ 8 種の CDCM ベースのパワーアンプシミュレーション w/ プレゼンスコントロール
- ◎ Aux in & headphone out 装備
- ◎ 3rd パーティの IR ファイル使用可能
- ◎ 100 プリセット
- ◎ 白色 OLED ディスプレイを採用
- ◎ 5 LED 付きコントロールノブ
- ◎ 9V DC 電源駆動
- ◎ ファームウェアのアップデート、アルゴリズムのロード&マネージメントが可能な Free PC/ Mac ソフトウェア等が可能な USB ポートを装備。

エミュレーションのリスト

収録されているキャビネット、パワーアンプ、マイクのリストは、Web上でPDF公開しています。下記よりダウンロード閲覧していただけます。

<http://allaccess.co.jp/hotone/binarycab/>

オールアクセスインターナショナル株式会社

●お問い合わせ：support_rs@allaccess.co.jp

●WEB：www.allaccess.co.jp